

広報

なぎじん

No. 106

1984年9月

村章

(毎月1日発行)



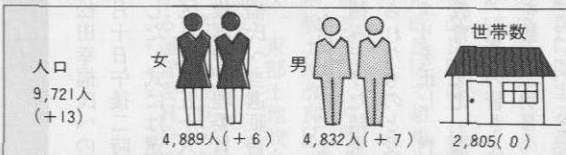
▲こんこんと湧き出るビージャーガー

海水浴場で知られる渡喜仁のビージャーガー。絶壁の下にある泉のことである。村民なら誰れでもここで水を飲んだり、海で火照った体を冷やしたりした経験があるだろう。

戦前は飲料水として使われたようだが、今はただ海に流れるだけである。昭和50年に村で階段と手すりを設置。海水浴やレジャーの利用が高まった。

自然は昔ながらに健在だが、人間のマナーは健在とは言い難い。空カン、ビニール、紙など明らかに人為的な塵が景観をそこねる。村内どこでも自分の庭の様に扱いたいものだ。

今帰仁村の人口 昭和59年7月31日現在()内は前月比



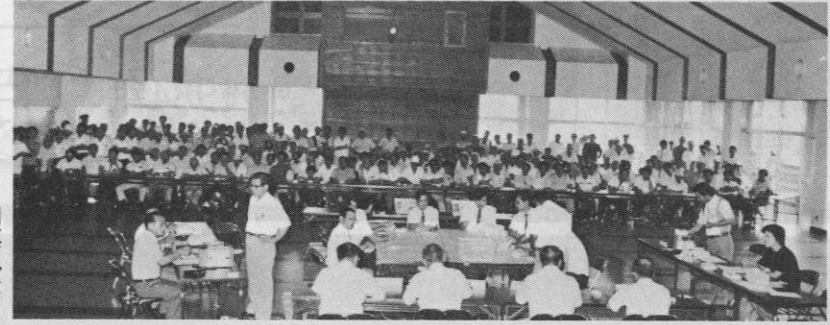
- 二 松田幸福氏が五選 第十九代村長に平和で豊かな村づくりをより強力に推進/図られる基盤整備と事務の簡素化
- 三 土地改良区合同事務所がスタート
- 四・五 ま・つ・り・楽しいね 村づくりに一役
- 六 第五回村まつり華やかに開催 若い世代に伝えてください
- 七 村民コーナー私の一言 母について
- 八・九 今帰仁(山北)の歴史 四
- 十 カヌーに今帰仁の星誕生 運天出身の当山克也選手 カナディアンシングルで堂々全国一に
- 十一 ぜひ受けましょう/住民検診 定期検診は健康管理の出発点です

今月の主な内容

村長選挙 8月5日執行

松田 幸福氏が五選 第十九代今帰仁村長に

平和で豊かな村づくりを より強力に推進!



開票風景

今帰仁村長選挙は、七月三十一日告示され、八月五日投票が行われました。翌六日の開票の結果、現村長の松田幸福氏が当選し、第十九代今帰仁村長に就任しました。松田氏は五期連続当選。これまで一期・三期が決戦投票、二期・四期が無投票で、村長選挙が行われたのは八年ぶりのことでした。

今選挙には、無所属の松田氏（六十七歳、革新統一）と、同じく無所属で前村教育課長の高良文雄氏（五十一歳、自民党推せん）の二人が立候補。告示後五日間にわたり激しい選挙戦を展開してきました。その結果、松田候補が高良候補に二二六票の差をつけて当選したのも、投票率も九三・三三%と、前回（五十二年）の九二・〇八%を上回り、また開票が行われたコミュニティセンターホールは約三百人の有権者が詰めかけるなど、関心の高さを示していました。なお、向こう四年間の松田村長の施策については、次頁に掲載しました。

最終結果		
松田 幸福	3,152票	
高良 文雄	2,916票	
無効投票	40票	



第19代今帰仁村長に
就任した松田幸福氏

選管委員長より 当選証書が交付



▼新城委員長より
当選証書を授与される松田氏(左)

五期連続当選を果たした松田幸福氏への「当選証書交付式」は、八月十日午後二時より役場ホールで行われました。式には選挙管理委員を始め、村議、区長など五十人が出席。経過報告、新城俊雄選挙管理委員長のあいさつの後、松田幸福氏へ当選証書が授与されました。それを受けあいさつにたった松田氏は、「まことに光栄に思う。十六年積み上げた結果と今後四年間の政策が認められたものと受け止めている。これからもエリを正し、村民協力のもとに産業振興・教育・文化・福祉の充実に全力を注ぎたい。村民の皆さんには、選挙戦のわだかまりを捨て、明日の村づくりのため大道団結してほしい」と話し、今後の姿勢を明らかにしました。

当日有権者及び投票者数・投票率

投票場	当日 有権者数			投票者数		
	男	女	計	男	女	計
第1投票場	1,112	1,138	2,250	1,050	1,086	2,136
2 "	790	860	1,650	732	815	1,547
3 "	651	695	1,346	607	656	1,263
4 "	499	474	973	456	436	892
5 "	153	150	303	133	137	270
計	3,205	3,317	6,522	2,978	3,130	6,108

投票場	棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計
第1投票場	62	52	114	94.42	95.43	94.93
2 "	58	45	103	92.66	94.77	93.76
3 "	44	39	83	93.24	904.39	93.83
4 "	43	38	81	91.38	91.98	91.68
5 "	20	13	33	86.93	91.33	89.11
計	227	187	414	92.92	94.36	93.65

今後四年にわたる 松田村長の政策

- 一、憲法を守り、民主主義と基本的人権が享受される平和で住みよい村づくり
- 二、今帰仁村民が主体となる活力ある村づくり
- 三、うるおいと安らぎのある暮らしを実現するため、社会福祉と保健衛生の充
- 四、公共事業を積極的に推進し、雇用の拡大と生活環境の整備を図る。
- 五、豊かな人間性をはぐくむ教育およびスポーツの振興を図る。
- 六、地域を創造する文化の振興と自然の保護育成
- 七、生産性の高い農林水産業の振興
- 八、商工業・観光業の振興及び地場産業の育成
- 九、昭和六十二年開催の沖縄国体の成功
- 十、古宇利架橋を始めとする離島の振興

図られる基盤整備と事務の簡素化

土地改良区合同事務所がスタート

今帰仁村土地改良区合同事務所が、八月一日よりスタートしました。

村内の各土地改良区は、これまで土地改良事業の推進、農用水の利用、管理など重要な役割を担ってきましたが、経営基盤、技術的能力が弱く、事務の合理化が遅れていました。

そこで国県の指導、助成により、村内の各土地改良区の役員が積極的に話し合いを行ない合

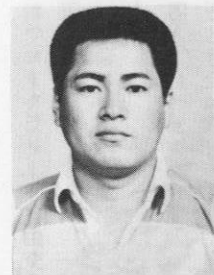
同事務所を設置したものです。合同事務所のスタートにより、各土地改良区が別々に業務を実施していたのを統一して行なうことになり、経営基盤の強化と事務の簡素化、集中化、技術的能力の向上を図り、さらに土地改良事業の円滑な実施、新規土地改良区の事務的業務を担当し、事業の掘り起こしを行ない、土地改良事業の推進を図っていき

合同事務所の事務局は、事務局長に諸喜田幸福東部土地改良区理事長、職員に大城隆徳さんが就任し、臨時職員四人で業務を進めています。



事務局長諸喜田幸福

合同事務所は こんな仕事をします



職員 大城隆徳

- 一、合同事務所の設置場所 村役場構内にあるプレハブ
- 二、事務処理に関する事項 (1) 組織及び運営に関する事務 (2) 土地改良事業
- 三、組織及び運営 参加土地改良区は、村内の六ヶ所の土地改良区で組織しています。 諸志土地改良区、仲尾次土地改良区、平敷土地改良区、吉事土地改良区、東部土地改良区、呉我山土地改良区。
- 四、運営は、各土地改良区の役員等で組織する運営委員会で決めます。

恒例となった村まつりも、迎えて五回目。今年も八月二十五日・二十六日の両日、役場西広場・中央公民館・コミュニティセンターを中心に行われました。村まつりは、村民が一堂に会し、融和を図るとともに、協調心を育て、産業・教育・文化など村の発展の一助にしようというもの。子どもから大人まで二日間延べ一万余千の人数で賑わいをみせました。

二十五日の午後二時から開会式が行われ、松田幸福実行委員長（村長）座間味栄金（商工会長）玉城千喜（議長）内間敏（助役）の三副委員長の手によってテープカット、その

後今帰仁小のバトン・鼓笛隊を先頭にパレードに移り、まつりがスタートしました。初日は、闘牛、沖繩角力、チビッ子のど自慢、ダンスパーティーがあり、また盆栽、ランを始めとした数々の展示、試食、野菜や食料品、家庭から持ち寄った不用品の即売などが人気を集めていました。二日目の北島角子、糸数カメショー、盆おどり、花火、カラオケ大会には、会場一ぱいに観衆が詰めかけ、秋風が吹く涼しい一夜を楽しく過ごしていました。今月号では、楽しかったまつりをスナップで綴ってみました。来年も皆んなの協力で一段と素晴らしいまつりにしていきたいものです。

▼華やかに空を飾る花火
▼子どものど自慢大会



▲初めて催されたチビッ子のど自慢

村まつり
一助として
第5回村まつり開催



▲まつりの開会式パレードを盛り上げた今小の鼓笛隊とバトン
展示及び即売会場



▲自然の恵みを生かした、大波瀾の即売会

北山郷友会が 祝賀会並びに激励会

北山郷友会（名嘉真武美会長）では、八月十六日午後七時より那覇市内の高砂殿において「仲宗根政善先生の恩賜賞・日本学士院賞受賞祝賀会並びに村出身の県議・今帰仁村長就任激励会」を開催した。

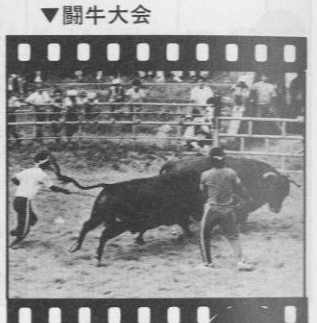
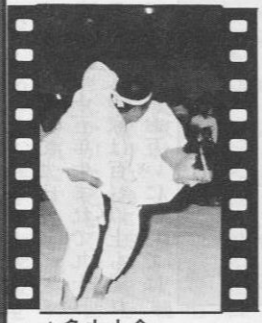
会は、「今帰仁方言辞典」その他の研究により恩賜賞・日本学士院賞を受賞した仲宗根政善氏（与那嶺出身、琉大名誉教授）のお祝いと、六月の県議選挙で当選した我喜屋宗重氏（玉城出身、国頭郡区）吉田光正氏（仲

宗根出身、国頭郡区）岸本忠三郎氏（与那嶺出身、那覇市区）、それに八月の村長選挙に当選した松田幸福氏の激励を兼ねたもの。会員を始め関係者約四百人が出席した。

最初に名嘉真会長は「郷土を同じくする者が融和を図り、会の発展を期すことは有意義であり、各界での活躍は会員の誇りであり、喜びにたえない」とあいさつ。次いで、仲宗根氏を始め村長、県議、石川郷友会の新会長長のあいさつがあり、その後



▼楽しい盆おどり



▼闘牛大会

▲角力大会

ねい
楽しいの
村づくりの
華やかに



▲懇親会で親睦を図っていた。祝賀会で親睦を深める郷友会員

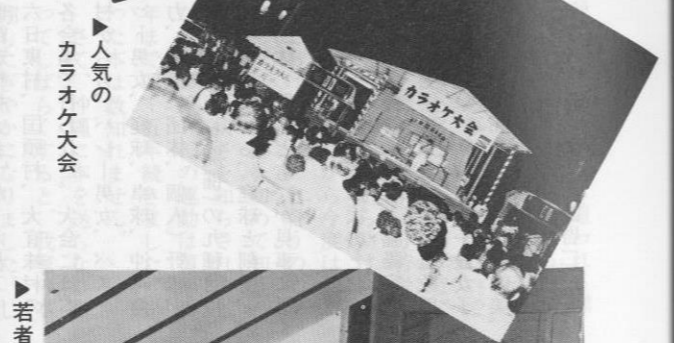
子ども会リーダーが 宿泊研修会

村子ども会リーダー宿泊研修会が、八月九日、十日の二日間県立名護青年の家で行われた。これは、子ども会中心となるリーダーが研修をとおし友情を深め活動を活発にしようというもの。子ども会から五十七人、指導者四人、合わせて六十一人が参加した。

「研修は積極的に生活は折り目正しく」をモットーに、一日目はウォークラリー、自由交換、



▲熱心に学習する子ども会の皆さん



▲人気のカラオケ大会



▲若者が集うダンスパーティー

若い世代に伝えてください

おじいちゃん、おばあちゃんのこと

知恵と経験

家族や社会のために役に立つことができると思いますか？。全国の六十歳以上のの人に尋ねたところ、およそ六割の人が「どちらかといえばそう思う」と答えています。年をとってもまだまだやれる——この気持ちを家庭や地域で生かしていくには、お年寄りばかりでなく家庭や近隣の人々の努力も必要です。

九月十五日は敬老の日。この日を機会に、お年寄りの社会参加について考えてみましょう。

元気です

謝名の国吉、松本さん

大の仲良し。国吉マツさん（謝名一二五）と松本マツさん（謝名六五）。マツさんが明治二十四年生まれで九十四歳。マツさんが二十五年生まれで九十三歳。二人の家は百以上も離れているが、お互いに訪ねてはよくやま話に花を咲かす。足腰、眼、耳ともまだまだ達者だ。動くことが健康の秘訣であること、を証明している二人。いつまでも元気でいてもらいたい。

▲話し足りない若々しい国吉さん(右)と松本さん(左)

と思っても、回りから見れば価値あることかも知れません。家庭や社会で役割を見つけ、伸び伸びと行動できるようにしてあげてください。

参加しましょう
九月十五日午後二時からコミユニティセンターにおいて、村主催による「敬老会」が行われます。多数の皆さんの参加をお願いいたします。

庭球・剣道に優勝

郡球格技大会で村選手活躍



▲郡大会で優勝した庭球チーム

郡体協主催の「第二十一回郡球格技大会」が、八月二十六日東村、国頭村、大宜味村の各会場で行われた。大会には本村からも、バレー男女、バスケット男女、庭球、卓球、沖繩角力、剣道(団体、個人)野球、(七月二十一日開催)の九種目に出場。そのうち、庭球と剣道、(団体、個人とも)が見事に優勝を飾った。

村チームの成績は次のとおり。

- 庭球—優勝(監督—嘉陽宗敬、一般男子—知念浩、宮里政郎、玉城紀章、新城敦、一般女子—仲宗根和美、仲宗根真由美、玉城尚子、仲松江梨子、上間真由美、教員—真謝啓二、宮城吉春、玉城嵩、上妻秀文、岸本直)
- 剣道団体—優勝(監督—与那嶺清治、選手—大嶺喜英、仲間重男、与那嶺修、上地勝則、赤崎芳也)
- 剣道個人、優勝—大嶺喜英、三位—仲間重男
- バレー男子(一回戦で宜野座に敗退)
- バレー女子—準決勝で金武に敗退
- バスケット男子(二回戦で大宜味に敗退)
- バスケット女子(一回戦で金武に敗退)
- 卓球(一回戦で金武に敗退)
- 沖繩角力(負傷のため棄権)
- 野球(二回戦で伊江に敗退)

今帰仁村のお年寄

番号	氏名	生年月日	年齢	住所	備考
1	島袋 ウシ	明治16.2.15	101	諸志128	
2	玉元 カナ	" 17.8.3	100	崎山108	
3	城間 孫八	" 17.11.17	99	平敷235	
4	玉城 善良	" 18.4.9	99	古宇利76	
5	大城 マツ	" 18.4.28	99	与那嶺185	
6	嘉陽 マツ	" 19.1.9	98	呉我山22	
7	喜屋武カメ	" 19.3.20	98	上運天893	
8	仲本カマド	" 19.4.6	98	呉我山401	
9	神山 カナ	" 19.8.5	98	勢理客479	
10	松田 マカ	" 21.3.5	96	勢理客227	白寿
11	金城寛五郎	" 21.8.27	96	仲宗根282	白寿



もやま話に花を咲かす。足腰、眼、耳ともまだまだ達者だ。動くことが健康の秘訣であること、を証明している二人。いつまでも元気でいてもらいたい。

▲話し足りない若々しい国吉さん(右)と松本さん(左)



村婦人の主張大会・優秀賞

母について

字崎山一九五番地 金城祐子



私の母は、若い頃従軍し、満洲の憲兵隊に勤めていたのですが、小柄で少し太目でよく動き回ることから「ダットサン」と呼ばれていたそうです。

母のダットサン振りは、三歳の私を連れて父と別れてからも発揮されました。昭和二十六年当時、社会も安定せず、若い女手一つで子供を育てるのは並大抵の苦勞ではなかったと思います。でも母は疲れた顔を見せませんでした。いつも明るく張り切っていました。お陰で私は父親の居ない淋しさも知らずに大きくなりました。

何度目かの家出の後、例によって夜中にソーツと帰ってきた私に母はこんな話をしてくれました。母の実家は、人の良い父親が保証人になった為に破産をし、家族はけんかがたえず、又世間態ばかりを気にする母親への反抗もあって、勝手に女学校を中退し従軍したとの事でした。

家出という非行への一歩を踏み出していた私が、さして曲がりもせずに成長したのは、母が大きな愛で抱みながら、時とときびしく、又時として人生の先輩、友として対等に話し合ってくれたからだと思えます。

母にとっても本当に嬉しかったろうと思います。

ある夏休み。母は念願の沖繩旅行に出かけ、ショックを受けて帰ってきました。沖繩戦の悲惨さはもちろんの事ですが、学校の図書室に本が少いのびつくりしたそうです。慶良間諸島の座間味小中学校へ行った時、図書室は我家の本棚より淋しかったという事でした。

それから母の「沖繩に本を送ろう運動」が始まりました。我家の本棚を手始めに、友人達に呼びかけていきました。当時は沖繩について知る人は少なく、中には「日本語の本を送っても読めるの？」と聞く人すらいました。その度に母は、沖繩について話し、現状を訴えてきました。

初めの頃はダンボール二箱位だったのが協力者も増え、出版社や新聞社も寄贈してくれる様になり、送る本もダンボール五、六箱位になりました。量も回数も増えたのはいいのですが、

我が家の財政は運賃に追われる様になりました。あまりかねた私に「自分達の生活すらやっとなのに、人の事どころではないでしょう」と言うと、母は「昔、あなたを育てる間ずい分苦勞もした時、多くの人から助けられたよ。だから今度は私がしてあげる番よ」と言うのです。そんな母の気持ちを初めて知り、私の考えの狭さを知らされました。その後、母の運動は復帰の年まで四、五年続きました。送った本は数知れませんが、

「日曜日だけ文庫を開こうよ」と。間もなくそれが実行されたことは言うまでもありません。

家庭文庫活動は、私が沖繩に嫁いでからしばらく続けていたのですが、一人暮らしの気楽さから出かけることも多くなり、四年間の歴史を閉じ、今度はお前さんの番だよとばかりに全部の本を私の所に送ってきました。しかし困ったことに、その頃の私は夫の失業から専業農家になつたばかりで、慣れない農作業や子育てと生活に追われ、気が

常には学ぶ心を忘れずに、いつも明日を見つめ、その時その時を大事に生きてきた母。親として、時には友として会話をしてくれた母。地域や社会の中に自分を置いていた母。

私は母より大きくなれないかも知れませんが、母の様に生きたいと思います。そして今度は私の息子達に見習ってもらえる様、しっかりと生きていきたいと思えます。

なりながらもとても本まで手が廻りませんでした。

昨年からやっとな農業も目安がつき、どうにか心にゆとりができる様になりました。ご近所に文庫活動に積極的で自宅の一部まで提供して下さる仲間もでき、何とか夏休みには「崎山文庫」を開きたいと頑張っています。

話が母の事からそれてしまいましたが、私の結婚以来やっとな娘から開放され、自分の人生を送れるとばかりに、日本中を時には外国にまで足を伸ばし走りまわっている母。昨年還暦を迎えたのに、今だに孫から「ママ」と呼ばれ、ジーンズをはいて動きまわっている母は、若い頃のアグナのとおりまさしくダットサンです。

昭和59年9月1日

しかし、中学に入り反抗期を迎えた私は、理屈を並べて、家出をする事も度々ありました。

大変勇気のいることでした。先生や生徒から「ママさん」と慕われ、無事に卒業できた事は、

昭和59年9月1日

昭和59年9月1日

昭和59年9月1日

今帰仁(山北)の歴史(四)

第二監守時代・後期(一六〇九〜一六六五年)

城内から城下

そして首里へ

第二監守時代後期(一六〇九〜一六六五年)は、山北監守(今帰仁按司)の住居が、山北(今帰仁)城内から城下(今帰仁村が親泊村へ)へ移り、その後一六六五年に首里赤平村へ移って行った時代である。城内から城下へ、そして首里へ移った状況を示す文献は、後世に編集されたものではあるが、「向氏家譜(具志川家)」がある。それに、

たのか、その年代ははっきりしないが、繩祖が父克祉のあとを継いで今帰仁間切総地頭職になるのが万曆三十七年(一六〇九)である。そして、七世の從憲が繩祖のあとを継いで総地頭職になったのが順治十一年(一六五四)である。それからすると、城内から城下への移居は、一六〇九年から一六五四年の間ということになる。

山北監守が、城下へ移居した理由は、城付近にあった今帰仁村と志慶間村が敷替をしたために、村が遠くなり不自由になったからという。両村の敷替理由は、単に場所がよくないと記すだけであるが、薩摩軍による城内焼打ちがあった後だけに、それが大きく影響しているであろう。城付近にあった両村に敷替を行わせ、そして城内から城下へ移居したことは、そのころの山北監守には監守としての機能の低下、あるいは権威が失われてきていたとみることが出来る。山北監守の移居した場所が、「家譜」では「今帰仁村へ引越

第二監守時代(後期)の監守

第二山北監守と大北墓

第二監守時代後期(一六〇九〜一六六五年)の監守は、六世の今帰仁按司繩祖と、七世の今帰仁按司從憲の二人である。

大北墓は、別名按司墓とも呼ばれ、今帰仁村運天の運天原にある。運天の集落の北側山麓に位置し、岩に掘り込んだ横穴式の墓である。墓室から門を中心として左右対称に石垣が積まれている。墓庭に墓碑が建っており、現存の碑は大正十三年に再建されたものである。石碑について「国頭郡志」は、「城内に石碑の台石あり古老の説に曰く該碑は六七十年前迄守立せしが外国船入港後遂に之を認めざるに至れり、されば多分外人の破壊を虞れ当時の番所員が抜取りて隠蔽し遂に埋没せしならんといふ」と、当時の口碑を伝えている。明治三十四年に発行された田山花袋編の「琉球名勝地志」の中にある大北墓の写真に墓碑が写っており、そのころ墓碑がまだあったことが確認される。

首里への移居については「中山世譜」には、
至康熙年間尚貞王以山北冥寧之故始命移居于首里とある。康熙四年(一六六五)尚質王のとき、首里への移居を命じられている。その理由として「冥寧之故」とあり、山北の地が監守の制度を必要としない社会情勢になっていたことがうかがえる。

大正十三年に再建された墓碑は、風化がひどく碑文の全文を読みとることは困難である。し

かし、拓本で読みとる限り「向氏家譜(具志川家)」にある

いる。大北墓は、第二監守時代の監守と、その一族を葬った墓として、山北(今帰仁)の歴史上重要な位置にある。

第二監守時代(後期)の統治形態

この第二監守時代後期の統治形態の大きな特色は、琉球が薩摩の支配下に組み込まれていったことである。薩摩軍の琉球入り、今帰仁城の焼打ち、その後五世克祉の死亡は、監守の山北の地への同化、監守本来の機能の形骸化が進んでいく過程で、それを顕著にせしめた事件といえる。志慶真村と今帰仁村の敷替によって、監守の住居を城下に移したことは、監守の支配力の低下を示すものである。一六六五年に、監守が首里へ引き上げた時の理由が、「山北冥寧之故」であり、その時の山北は、監守を必要としない状況にあり、監守制度が形骸化していたとみることが出来る。

守に比べると山北監守本来の地位・役割が低下したのではないかと別の視点から、山北監守の地位・役割の低下を指摘されておられる。

首里王府からの地方支配は、薩摩の琉球支配で、古琉球といわれる時代から近世へと移行する時期である。これまでの按司掟から地頭代へと、地方支配の統治形態が変わる。按司掟から地頭代への移行は、尚寧王が帰国した一六一一年で、「球陽」に「王、諸郡の按司を裁して、始めて地頭代を建つ」とある。「各間切の按司は武備を撤廃して首里に居を移したが、その領有する間切には按司掟を遣わして間切の統治に当らしめたというから、按司を代理するほどの信任あつき重臣であったにちがいない」として、それに代わった地頭代は、「薩摩に対する貢租の関係から、諸制度更改された結果の一であろう」、また「最初の地頭代職は、極めて卑官であったやうである」と述べられている。それに従えば、按司掟が按司の重臣を派遣し、代官的役割を果たしたのに対し、地頭代は、その地方(間切)出身者を任命していたのであれば、地方支配の強化とみることが出来る。しかし、現在のところ初期の地頭代についての資料が乏

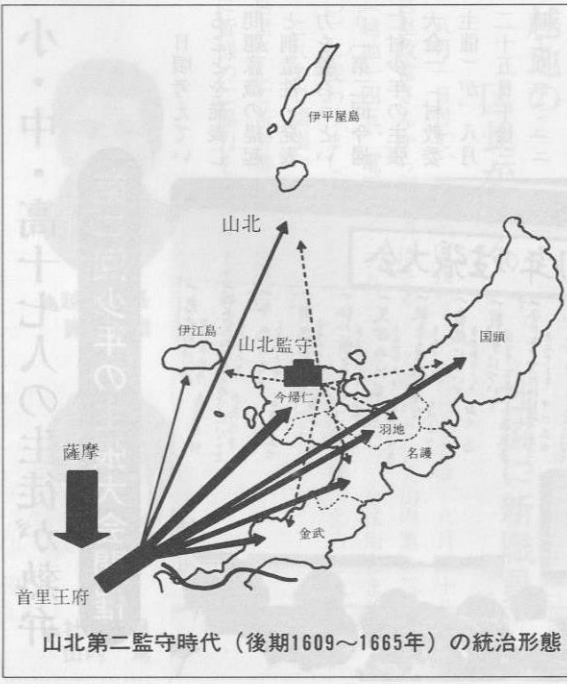
しく、よくわからないのが現状である。

- ⑤ 前掲③同、二六一―二三頁。
- ⑥ 前掲④同、四三一頁。
- ⑦ 前掲④同、四三〇頁。
- ⑧ 前掲③同、二七四―四五頁。
- ⑨ 前掲④同、四三〇頁。
- ⑩ 前掲④同、四三一頁。
- ⑪ 「中山世譜」琉球史料叢書四八五頁。
- ⑫ 高良倉吉「山北監守をめぐる問題点」沖繩史料編集所紀要八号、四九頁。
- ⑬ 比嘉春潮、全集第一巻歴史編一六五頁。

同じことが記されている。再建以前の碑も、この文が彫られていたものであろう。

それによると、元祖今帰仁王子(一世韶威)は、尚真王の第三子で旧制により国頭方の監守を仰せつけられ、今帰仁に移居し、七代(從憲)まで勤めたので運天村に墓を構えて祖々を安葬したとするもので、今帰仁王子(十世宣謨)によって建てられたものである。大北墓は、城下にあったのを運天に移葬したものと伝えられている。

明治四十五年の調査によると、大北墓には、宗仁(今帰仁二世)・四世・五世・六世・七世と、その一族が葬られており、石棺・陶棺、それに甕が確認されて



ぜひ受けましょう

住民検診

検診日程

一般検査・精密検査日程				胃検診日程			
月日	曜日	字名	時間	検診場所	字名	時間	検診場所
9月19日	水	今泊	午前9:30~3:30	今泊公民館	今泊	午前9:30~12:00	今泊公民館
9月20日	木	兼次志	午前9:30~11:30 午後1:30~3:30	兼次志	兼次志		
9月21日	金	与那嶺仲尾	午前9:30~11:30 午後1:30~3:30	与那嶺仲尾	兼次志 与那嶺仲尾	午前9:30~12:00	与那嶺公民館
9月25日	火	崎山平敷	午前9:30~11:30 午後1:30~3:30	崎山平敷	崎山平敷	午前9:30~12:00	崎山公民館
9月26日	水	越地	午前9:30~11:30 午後1:30~3:30	越地	越地		
9月27日	木	玉城我山	午前9:30~11:30 午後1:30~3:30	玉城我山	玉城我山		
9月28日	金	湧川	午前9:30~午後3:30	湧川集落センター	湧川我山	午前9:30~12:00	湧川集落センター
10月1日	月	天勢底客	午前9:30~午後3:30	天底公民館	天勢底客	午前9:30~12:00	天底公民館
10月2日	火	上運天	午前9:30~午後3:30	上運天公民館	上運天利	午前9:30~12:00	上運天公民館
10月3日	水	古宇利	午前10:30~午後2:30	今帰仁村環境改善サブセンター			
10月4日	木	渡喜仁 役場・農協	午前9:30~3:30 午後1:30~3:30	地域総合施設 役場ホール			
10月5日	金	仲宗根	午前9:30~午後3:30	仲宗根公民館	仲宗根	午前9:30~12:00	仲宗根公民館

定期検診は 健康管理の出発点です

人間のからだは、日々刻々と変化しているものです。今年「異常なし」であったからといって、来年は必ずしも「異常なし」とはかぎりません。

また、だれしも年をとるにしたがって、からだの異常状態もふえてきます。

とくに成人病といわれる高血圧や動脈硬化、脳卒中、心臓病、がんなどは、三〇歳代の後半から発生が急増加してきます。

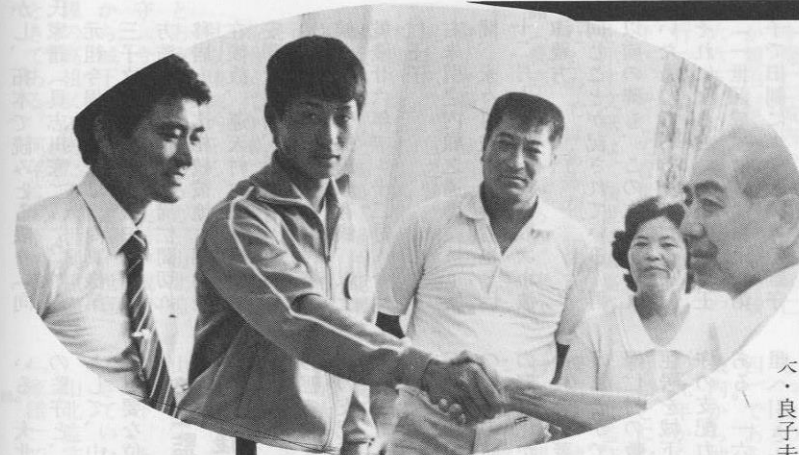
今帰仁村においても毎年、一般検診で二人に一人、胃検診で

は、十人に一人の割合で異常がみられます。

定期的に検査を受けることにより、自分のからだの状態の流れをつかむことが、早期に異常をみつけ出すカギといえます。

つまり、定期検診は自分の健康管理の出発点なのです。

自分は、どこも悪くないから忙しいからと言わず、隣の人を誘いあつてぜひ検診を受けましょう。



おめでとう克也君！ 八月二十日、鳥取県で行われた日本カヌージュニアレーシング選手権に、初出場で優勝した当山克也選手（字運天出身、沖繩水産高二）が、二十二日両親、高山朝夫監督を伴って村役場を訪問。松田村長、池原収入役らの祝福と

カヌーに今帰仁の星誕生

激励を受けた。当山選手の種類は、片ひざを立て五百メートルを競うカナディアンシングル。予選は一分三秒だったものの、決勝は自己ベストと同タイムの一分二二秒。本番で実力を発揮できる勝負強さで、見事栄冠を克ち得た。

字運天二〇三の当山輝六・良子夫婦の三男二女の長男。今帰仁中から沖繩水産高校に進学し、カヌーを始めてまだ一年あまり。本人・監督とも当面は九州制覇が目標だったという。二人のお姉さんもカヌーの選手として活躍。本人も、漁師の父親を手助けし、少年時代

運天出身の当山克也選手 カナディアンで堂々全国一に

からカヌーは父親以上だった、というところから素質を伺うことができる。高山監督は成長の早さについて「海に慣れているため飲み込みが早いことと、天性のカンの良さ」と分析。それに毎日二十以上の練習量、試合度胸の良さが優勝に結びついた。

九月二十八日・二十九日にハンガリーのブタペストで開かれる国際大会に日本代表として出場する。「国際大会はレベルが高いので、それまでに自己記録を伸ばしたい」と話し、「将来はソウルオリンピックを目指したい」と抱負を語った。頑張れ当山選手。沖繩県民、今帰仁村民の期待に応え。

都合により若き後継者たちは休ませていただきました。

小・中・高十七人の生徒が熱弁

第二回少年の主張大会開催



日頃考えていることを発表し問題意識の提起と創造性・発表力を養おうという「第二回今帰仁村少年の主張大会」（村教委主催）が、八月二十五日午後三時よりコミュニティーセンターで行われた。

大会には約二百人の聴衆が参加。まず主催者の大城教育長のあいさつ、次いで松田村長の激励を受けた後、小学生八人、中学生七人、高校生二人の計十七人の弁士が、それぞれの立場から自然、健康、非行、平和、学校生活についての主張を行った。特に今回は村内の全小・中・高校から弁士が出場し、大会を盛り上げた。

審査の結果、小学校の部の最優秀賞には神山利枝子さん（今帰仁小六年、父母の仕事）優秀賞には嘉手苺真也君（天底小六

遺物展示会

9月14日～16日

村教育委員会は、今帰仁城跡出土の「遺物展示会」を九月十四日から十六日までの三日間中央公民館講堂で開催いたします。時間は午前九時から午後五時まで。

これまで進めてきた「今帰仁城跡環境整備事業」に伴う発掘調査で出土した青磁、白磁、染付、三彩、陶器、土器、朝鮮、タイ、ベトナムの陶磁器、鉄製品や銅製品、骨製品、古銭、動植物の遺存体などを総合展示するもので、村民多数の参観をお待ちしています。入場は無料です。

村陸上は 10月10日です

第39回村陸上競技大会は当初十月七日（日）に予定していましたが、都合により十月十日（水）に行います。悪しからず御了承ください。

香典返し

字今泊六〇三の新城春樹さんより、次男秀樹君の香典返しとして二十万円の寄附が村育英会にありました。御芳志ありがとうございます。

越地の 区長かわる

八月一日付で、越地の区長が宮里政常さんから謝花喜信さん（越地一四五、電五六一三五二〇）に変わりました。

これまで頑張っていた宮里さんご苦勞様。また新区長に皆様のご協力をお寄せ下さい。

社協に新職員

村社協では、八月二十八日付で職員として山内篤（二十歳、字与那嶺九）を採用しました。村民の皆様、よろしくお願いたします。



▲越地区長 謝花喜信



▲社協職員 山内 篤



9月1日
10月2日

村民カレンダー



9/1 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)	17 月	
2 日	○壮年ソフトボール大会(8:30、村営グラウンド)	18 火	
3 月		19 水	○心配ごと相談 (13:00、コミュニティセンター)
4 火	○乳児健診 (13:00、役場ホール)	20 木	○定例区長会 (14:00、役場会議室)
5 水	○区長会 (14:00、役場会議室) ○心配ごと相談 (13:00、コミュニティセンター)	21 金	
6 木	○婦人教育研修会 (8日まで名護青年の家)	22 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
7 金	○はしか予防接種 (13:00~ 役場ホール)	23 日	○秋分の日 ○運動会 (兼次中、今婦仁中)
8 土		24 月	○代 休 ○村内美化コンクール (村婦人会)
9 日	○農業委員選挙 ○生花教室 (13:00、中央公民館)	25 火	○農業委員会総会 (10:00、役場会議室) ○北山老人大学
10 月	○人権相談 (10:00、コミュニティセンター) ○子豚セリ市 (13:00、セリ市場)	26 水	○子豚セリ市 (13:00、セリ市場) ○移動心配ごと相談 (13:00、謝名公民館)
11 火		27 木	
12 水	○心配ごと相談 (13:00、コミュニティセンター)	28 金	
13 木		29 土	○国頭郡地区PTA研修会(30日までBGセンター)
14 金	○城跡出土遺物展示会(9:00~、中央公民館、16日まで) ○村畜産共進会 ○公民館運営審議委員会(14:00、中央公民館)	30 日	○運動会 (兼次小、今婦仁小、古宇利小中) ○生花教室 (13:00、中央公民館)
15 土	○敬老の日 ○敬老会 (14:00、コミュニティセンター)	10/1 月	
16 日	○肉用牛セリ市 (12:00、セリ市場)	2 火	

■地球はバイオ、クオリティライフなど、舶来語が氾濫気味。バイオは生命、クオリティは品質の意。CMを見て何のこともさっぱり解らないことも多い。横文字を使うと新しく見えるかも知れないが、日本語の持つ素晴らしさも忘れないようにしたい。

■北山郷友会主催の仲宗根政善先生の受賞祝賀会でのひとコマ。平山良明氏は教育者・学者・古里愛好家・平和主義者の四面から先生を紹介。改めて先生の豊かな人間性が浮き彫りにされた。

■その祝賀会の後談。郷友会では先生に記念品を贈ろうとしたが「そのような金があれば一フイット運動に寄附を」との申し出。会の方も、早速意志に応えたという。心暖まるいい話である。

■村長選挙・村まつりと、あわただしく八月が過ぎていった。続く九月はどうだろうか。セブテンパーキング、九月になれば、など九月を綴った歌も少くない。人影のなくなった浜辺。十五夜の月。九月は感傷的な月である。

編集後記

